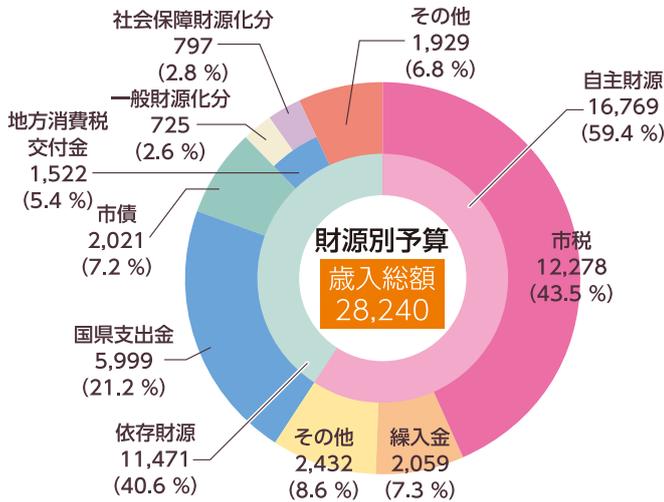


令和2年度当初予算のあらまし

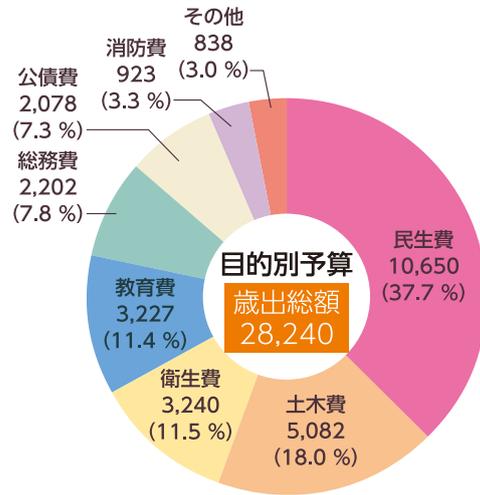
■問合せ 財政課(南館3階)

一般会計 282億4,000万円

歳入 (単位 百万円)



歳出 (単位 百万円)



特別会計・企業会計 164億7,239万円

特別会計 内訳

会計名	当初予算額
国民健康保険特別会計	58億9,972万円
介護保険特別会計	48億5,195万円
後期高齢者医療特別会計	16億 883万円

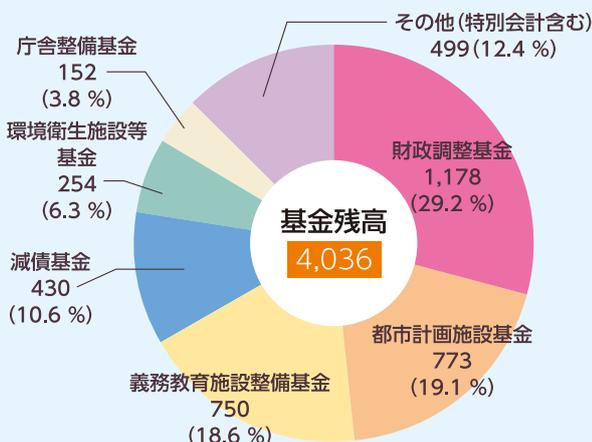
企業会計 内訳

会計名	当初予算額
水道事業会計	3億9,731万円
収益的支出	2億2,299万円
資本的支出	1億7,432万円
下水道事業会計	37億1,458万円
収益的支出	16億5,554万円
資本的支出	20億5,904万円

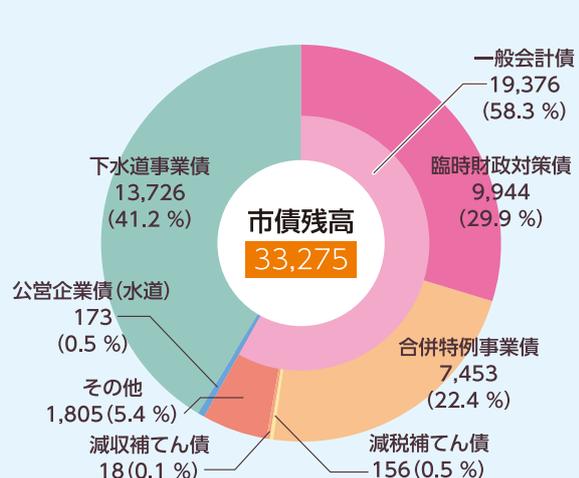
※当初予算額については、表示単位未満を四捨五入しています。

令和2年度当初予算編成後の基金残高(見込)、令和2年度末の市債残高(見込)は、次のとおりとなります。

基金残高 (単位 百万円)



市債残高 (単位 百万円)



令和2年度に 実施する主な事業

新 新規 拡 拡充 継 継続

安全で安心して暮らせる
まちをつくる

本年9月に東海豪雨から20年を迎えるにあたり、災害の記憶を風化させず、防災・減災の意識を高めるため、市民参加による道路側溝清掃、語り部による全小学校での大型紙芝居の読み聞かせ、記録映像を使った啓発など、さまざまな事業を行います。

また、都市型水害に対応するためのハード面の整備では、雨水排水対策として、土田排水区及び水場川右岸排水区の雨水幹線の整備、堀江ポンプ場、豊田川ポンプ場の改築・更新とともに、県施行の五条川河川改修事業に併せて西清洲ポンプ場の整備を進めます。

(主な事業)

新 東海豪雨の記憶を風化させないための事業の実施 2651万円

継 雨水幹線・管渠、ポンプ場の整備等の雨水排水対策の推進 6億69330万円

新 マンホールトイレの設置

新 高齢者安全運転支援装置の設置への支援 1478万円
312万円

子育てのしやすい
まちをつくる

平成30年の本市の出生率は、県内市町村では、長久手市に次いで高い出生率となりました。今後も子育てしやすい環境をさらに充実させるため、国と歩調を合わせた幼児教育・保育の無償化とともに、保育園給食費の免除対象を独自に拡充するなど、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

また、4月から、これまで整備を支援してきました民営の認定こども園が増加しますが、さらなる保育ニーズの増加に対応するため、令和3年4月の開園を目指して、西枇杷島地区に新設する民営の認定こども園の整備を支援するなど、引き続き待機児童ゼロの維持に努めます。

さらに、4月に供用を開始する西枇杷島児童センターに続き、老朽化の著しい清洲児童館については、令和4年4月の供用開始に向けて、児童センターとして建て替えを進めます。

小中学校については、引き続き3校の校舎の長寿命化に取り組みとともに、令和5年度までに全ての児童及び生徒が1人1台端末機器を持ち、そ

れを活用できるICT環境の整備を進めます。

また、ハード面の整備に加えて、独自に外国語指導講師を増員し、外国語教育を充実させます。



西枇杷島児童センター

(主な事業)

継 幼児教育・保育の無償化の実施 3億3806万円

新 認定こども園の整備への支援 2億6697万円

新 清洲小学校区の新児童センターの整備 1億4276万円

継 小中学校校舎の長寿命化等改修の推進 9億3622万円

新 小中学校のICT環境の整備 5億2076万円

新 外国語教育の充実 1462万円

誰もが健やかにいきいきと
暮らせるまちをつくる

健康な暮らしのためには、疾病を早期に発見し、治療を受けることが第一です。より多くの方に検診を受診していただくため、指定医療機関における個別検診を拡充し、肺がん検診を新たに追加します。乳幼児への感染症対策では、胃腸炎を引き起こすロタウイルスについて、10月からワクチンの定期予防接種を開始します。

また、社会福祉法人西春日井福祉会が取り組む、特別養護老人ホーム及び障害者日中サービス支援型グループホームの整備について、北名古屋・豊山町と協力して支援を行います。

(主な事業)

拡 肺がんの個別検診の追加 4071万円

新 ロタウイルスの予防接種の実施 998万円

新 (仮称)第6特別養護老人ホーム及び障害者日中サービス支援型グループホームの建設推進 2070万円

便利で快適に暮らせる
まちをつくる

斎苑整備事業は、令和3年度の供用開始に向けて、周辺地区の皆さまの

ご理解とご協力のもと、斎苑施設本体の建設を進めるとともに、火葬炉の設置を行います。同時に、周辺の環境改善を進めます。

名鉄名古屋本線の新清洲駅付近の鉄道高架事業については、将来的な道路等の整備を見据えつつ、令和5年度末を目途に、仮線用地の買収に取り組みでいきます。また、現在4カ所で行われている土地区画整理事業も、早期の完了を目指します。

幹線道路については、桃栄跨線橋が今年度末に開通予定であり、これに併せて、都市計画道路清須新川線について、五条川左岸堤防道路へ接続する道路整備を進めます。また、新たに西田中地区に新設する都市公園は、今年度中の供用開始を目指します。



斎苑施設完成予想図

（主な事業）
 斎苑施設の建設推進

5億1324万円

（継） 斎苑施設整備地周辺の環境改善

6億7610万円

（継） 名鉄名古屋本線の鉄道高架事業の推進

10億1452万円

（継） 都市計画道路清須新川線の整備の推進

6144万円

（継） 都市公園の整備・改修の推進

9509万円

魅力に満ちた活力のあるまちをつくる

清須のシンボルであり、観光拠点でもあります「清洲城」は、引き続き長寿命化等改修工事を行います。

観光誘客の促進としては、「清洲城」を核とした観光地域づくりを進め、市内異業種の交流を通じ、特産品やコンテンツの開発を検討するとともに、市の魅力を効果的に発信できるように、情報発信力の強化を図ります。また、今年の秋に予定されている「あいち朝日遺跡ミュージアム」の開館を契機として、観光客の増加が見込まれることから、レンタサイクルの拠点を清洲城周辺に整備し、リニューアルをして運営します。

（主な事業）

（継） 清洲城の長寿命化等改修の推進

7500万円

（新） 特産品開発への支援

200万円

（新） 観光ツールとしてのレンタサイクル事業の実施

391万円

豊かなところからだをばぐくむまちをつくる

「あいち朝日遺跡ミュージアム」のオープンに伴い、「清洲城」と連携して来場者数の相乗的な増加を目指すべく、両施設の共通入場券を作成するとともに、施設間を結ぶ遊歩道の整備や案内看板の整備を進めます。



あいち朝日遺跡ミュージアム 整備イメージ図

また、今年度は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されることから、本市でも、4月6日にオリンピック聖火リレーを実施し、東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運をまちぐるみで高めます。

（主な事業）

（新） あいち朝日遺跡ミュージアムと

（新） 連携した清洲城の魅力向上の推進

9946万円

（新） オリပ်ピック聖火リレー・パラリンピック聖火フェスティバルの実施

608万円

つながりを大切にすまちをつくる

令和2年度から始まる第2次総合計画の後期基本計画等に基づき、市民サービスの充実を図りつつ、持続可能な行財政基盤の構築に取り組みます。

市民課の窓口業務の一部を今年の10月から民間事業者へ委託し、民間の持つ知識や経験を活用することで、窓口サービスの質の向上を図ります。

近年急速に進展しているAIなどの技術を取り入れ、市民サービスの充実と業務の効率化を図るため、AI総合案内サービスなどの運用を開始します。

また、新たにスマートフォンアプリ「LINE」を活用した行政情報の発信を行うとともに、道路損傷箇所等に関する情報を市民の皆さまから収集する取り組みを行います。

（主な事業）

（新） 窓口業務の一部の民間委託

2512万円

（新） AI・ロボティクスを活用したシステムの導入

798万円